

北区会 自由な趣味の会

第66回折り紙の会 活動記録

2023年 6月 28日 (水)

1. 参加者と場所と時間

時間	場所	参加予定者
13時～16時	タンポポセミナー	榎田貴美子先生・山下先生:鬼村、宮内、道満、徳山、片岡、5名

1、はじめに

日本の伝統工芸「ORIGAMI」あらゆる分野で利用活用され、世界でもっとも価値ある伝統工芸品だと再認識しています。..その一例をネットにあり一度記載してみました。しかし、会員各位は既に多くの折り紙活用がある事ご存知でしょう。本当に素晴らしい「脳トレ」と再認識しています。

注目される「折りたたみ式ロボット」 byNETより・・・

日本では、いまだ伝統工芸のひとつとしてみなされる傾向のある折り紙だが、昨今、世界の折り紙技術に対する注目は著しいと萩原教授はいう。2014年8月に東京で開催された「第6回折り紙科学・数学・教育国際学会」には、世界30カ国から300人近くが参加した。

折り紙技術への注目の背景には、1990年以降折り紙の設計を支援するソフトウェアや、折りによる紙の変形をシミュレーションするソフトウェアなどが多く登場して、「計算折り紙」の研究が進んだことがある。米国では、2012年に米国立科学財団が折り紙技術の研究プロジェクトに1600万ドルの研究開発費を提供したという。

その米国では、マサチューセッツ工科大学のコンピュータ科学者エリック・ドメイン教授 (Eric D. Demaine) が形状記憶ポリマーシートで作る「折りたたみ式ロボット」の論文を発表して注目されるなど、斬新な研究が行われている。

2、活動概要

I 鶴など



山下講師から・・・

鶴・笹飾り

II、色紙： 毎回、講師から提案。

紀美子講師から・・・

七夕飾り=兼業・織姫



3 活動状況 & 作品

わいわい・・・がやがや かなり厳しい「色紙=牽牛・織姫・笹の葉」制作・・・なんとか！全員完成。





4 教室制作風景

制作は 図面解釈・集中・根気の3時間
それが作る魅力・完成の喜びかな？
中には・・はぐれ狼も存在有誰？



折り紙が持つ幾何学的な性質から、数学の一分野としても研究されている他、工学や宇宙工学分野でも構造物の収納・展開の手段として活用されている。
その効果効用：想像力、創造力、数学的・幾何学的観念を与える、物の順序、正確性、楽しさ、美的情緒を養う、手先の運動神経 つまり脳トレにもっとも簡単に何時でもできる良さで、何よりも日本で一番庶民伝統作品です。

この会はどの区会の方も自由に参加頂けます。お知り合いお友達もお誘いください。

申し合わせ及び注意事項

- 1) 欠席者は事前に幹事「道満」へ連絡する
- 2) 諸道具は自身で持参、その服装などの準備もお願いします
- 3) 諸道具の購入などは参加者負担(500円)をお願いします。

次回開催:

第67回折り紙の会活動計画予定

開催日	令和5年 7月 26日(水)	13時~16時
場所	しあわせの村 ひよどり保養所	

文責 道満